

「宣伝よりも、地域の安全を。」

中野坂上No.1の管理会社・吉住ホームが通学路に設置した“営利目的ではない”交通安全看板が、住民から異例の高評価

中野・新宿・杉並を中心に不動産事業を展開し、中野坂上エリアでトップクラスの管理戸数6,810戸を誇る株式会社吉住ホーム（本社：東京都中野区、代表取締役：吉田昌平）は、地域貢献の一環として、中野区立中野第一小学校の通学路および校門前に、オリジナルキャラクター「吉住くん」を活用した交通安全看板（計2基）を設置いたしました。通常、企業看板は自社サービスの訴求が主体となりますが、本看板はあえて広告要素を抑え、児童の安全と地域住民への配慮を最優先に設計。この取り組みに対し、住民から感謝や称賛の声が寄せられています。



小学校校門前の看板



小学校通学路に面する看板

■ 取り組みの背景：地域に寄り添う「人生のベストパートナー」として

当社は2025年に創業40周年を迎え、不動産管理の枠を超えた「ライフコンサルティング企業」への進化を掲げています。地域密着を核とし、LINE公式アカウント「YOSHIZUMIメンバー（L.Y.M）」による地域活性化や、社会貢献（CSV活動）に注力してきました。今回、中野の街への恩返しとして、中野第一小学校に隣接する通学路に、自社宣伝ではなく「子どもたちの安全を守ること」を主眼に置いた看板を設置いたしました。

■ 看板の概要

第1弾（2025年5月設置）：東京都中野区本町3-15-17 ヒルサイドテラス

第2弾（2025年11月設置）：東京都中野区本町3-28-20 本町マンション

特徴①安全性の向上：校門前や通学路の死角に設置し、ドライバーへ注意喚起。特徴②親しみやすいデザイン：キャラクター「吉住くん」を採用し、威圧感のない外観を実現。特徴③非営利メッセージ：営業情報を限りなく排除し、公共性の高い安全祈願を主軸に構成。

■ 近隣住民・地域からの反響：営利看板ではありえない「お褒めの言葉」

看板設置後、近隣住民や町内会から「交通安全への配慮が素晴らしい」「吉住くんのデザインに安心感がある」といった好意的な声が多数寄せられています。通常、看板設置は景観変化への懸念を招きがちですが、今回は「地域の守り神」として歓迎されました。特に学童擁護員の活動場所に設置したことで、子供第一の姿勢が地域に高く評価されています。

■ 今後の展望：街の「関係人口」すべての満足度向上へ

弊社は、2026年末までにLINE会員数5,000名を目指し、デジタルとアナログの両面で地域との接点を強化します。街に住む人、訪れる人すべてが笑顔になれる施策を継続し、中野坂上エリアの活性化に貢献してまいります。

【企業情報】

株式会社吉住ホームは、2025年に創業40周年を迎えた地域密着型不動産企業です。賃貸管理戸数は6,810戸にのぼり、不動産事業のほかカフェやジムの運営など、住まいの枠を超えたライフスタイル全般のサポートを展開しています。

社名：株式会社吉住ホーム

本社所在地：東京都中野区中央1-37-2・設立：昭和60年（1985年）7月6日

代表取締役：吉田昌平・従業員数：82名

事業内容：不動産取引全般（賃貸・売買・仲介・分譲）。不動産運用全般（コインパーキング事業・シェアハウスゲストハウス事業・マンションリーマンション事業・トランクルーム事業）。アパート・マンション管理業務（賃貸集金・入居募集・メンテナンス）

コンサルティング（等価交換・資産運用・借地借家問題の解決・鑑定）

管理戸数：6,810戸（2025年実績）

賃貸仲介：2,500件（2024年10月～2025年9月）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社吉住ホーム 企画広報室 担当：小林・舩田 E-mail: pr@yoshizumihome.co.jp

本リリースの内容に関連して、現地での看板撮影や、地域貢献への想いに関する代表の取材も随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。